

制定 平成24年12月5日

改正 令和元年11月19日

第二東京弁護士会 O A機器の使用方法等に関するマニュアル

1. はじめに

当会では、平成21年度よりKES環境マネジメント・システムを導入し、これに基づき様々な環境活動に取り組んで参りました。同活動に関し、ハード面での会館運営の改善につき検討を進めて参りましたが、その一環として今般、O A機器の使用の合理化による省エネの推進のため、当マニュアルを作成いたしました。

当会事務局の皆様におかれましては、当マニュアルを片手に業務に励んでいただければ幸いです。

2. チェック事項

(1) O A機器の導入時の注意事項

□導入予定のO A機器には環境ラベルがついていますか？

○環境負荷が低い等の一定の基準を満たす製品については、環境ラベルが添付されているものがあります。それぞれの環境ラベルによって基準が異なりますので、O A機器の新規導入又は更新の際には内容を確認の上、導入を検討するようにしましょう。環境ラベルの詳細については、環境省環境ラベル等データベース

(<http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/index.html>) 等をご参照ください。

<例> エコマーク (公益財団法人日本環境協会)



ライフサイクル全体を考慮して環境保全に資する商品を認定し、表示する制度です。幅広い商品を対象とし、商品の類型ごとに認定基準が設定されています。ISOの規格(ISO14024)に則った我が国唯一のタイプI環境ラベル制度です。

国際エネルギースタープログラム (経済産業省)



パソコンなどのオフィス機器について、稼働時、スリープ・オフ時の消費電力に関する基準を満たす商品につけられるマークです。日本、米国のほか、EU等9か国・地域が協力して実施している国際的な制度です。

PCグリーンラベル (一般社団法人パソコン3R推進協会)



パソコンメーカーの団体である一般社団法人パソコン3R推進協会が運営するパソコンの環境ラベル制度です。環境に十分配慮したパソコンの設計・製造や情報公開などに関する基準を「PCグリーンラベル基準項目」として定めており、パソコンの3Rを推進しています。2010年4月から環境性能の可視化を開始しています。PCグリーンラベル適合製品を三ツ星によって格付けするとともに環境情報を公開しています。

(2) パソコン・ディスプレイの設定

現在使っているパソコンは、省エネモードに設定されていますか？

○現在使っているパソコンについては、なるべくキーボードやマウスを25分間操作しないと自動的にスリープモードになるようにパソコンを設定しましょう（業務に支障が生じる場合等には、可能な範囲で短い時間に設定しましょう。）。

新規導入するパソコンは、導入時に省エネモードに設定するようにしていますか？

○新規導入するパソコンについても導入時に、なるべくキーボードやマウスを25分間操作しないと自動的にスリープモードになるように設定しましょう（業務に支障が生じる場合等には、可能な範囲で短い時間に設定しましょう。）。

昼休みや長時間の離席時に、現在使っているパソコンをスリープモードにしていますか？

○再起動時に消費電力が大きくなるため、一般的には、短い時間であれば電源を切らずにスリープモードとしておくほうが消費電力が少ないとされていますので、昼休みにはスリープモードに設定するようにしましょう。

(3) その他のOA機器の節電

退勤時にプリンタの電源を切っていますか？

○電源をOFFにした場合、待機状態のままにしている場合に比べて消費電力量が減りますので、最後に退出する人は電源を切るようにしましょう。

3. 参考情報

(1) 電源をコンセントから抜き、内蔵バッテリーで動作させると節電に大きく貢献できます。1日の中でも特に電力需要量が多い13時から18時は、内蔵バッテリーの充電が十分の場合には、業務に差支えない範囲でコンセントを抜いておきましょう。

(2) 画面の明るさを40%にすると、100%のときと比べて消費電力が約20%削減されると言われています。無理に暗くする必要はありませんが、視認性に問題のない範囲で明るさを抑えることは、効果的な節電対策となります。

※ ご不明の点がございましたら、環境保全委員会までお問い合わせください。